

# こもれびの森通信 9 月号

2014 9 月号

発行 宮城県こもれびの森 森林科学館  
〒987-2512 宮城県栗原市花山草木沢角間 10-7

TEL&FAX 0228-56-2330  
http://mifi.main.jp/komorebi.htm



## イベント報告 「自然観察と夏休みの工作」

8月10日(日)、「自然観察と夏休みの工作」をテーマに夏休み最大のイベントが開催されました。当日は台風が迫り、荒れ模様でしたが、「雨二モマケズ・・・」イワナのつかみ取り・川遊び・ソーメン流し・ネイチャーラフトと盛りだくさんのメニューをこなしました。初参加のお子さんも多く、自然と触れ合うことでたくさんの発見があった一日でした。(千葉)



## 「藍染め」

8月31日(日)、2回目の『藍で染めてみましょう』が開催され、老若男女、最大年齢幅60歳以上もある小学生の男女から70歳代まで(男性の参加も4名)という年齢構成で楽しみました。藍染めの一番は、草木川で洗い流しているうちに鮮やかな藍色が表出した時で、何度経験しても感動!です。染め後はピザ作りを楽しみ昼食会に早変わり。至福のひと時でした。(小林)



## こもれびの森の かわいいことりたち

こもれびの森サポーターで  
専属ことりカメラマン(?)  
の大友さんのコーナーです

「救世主」登場・・・木々の緑が枝を隠すうえ、雨の降る日が続きました。焦るほどなかなか鳥を見つけられません。「かーえろ」、車に戻ろうとしたとき、科学館入り口向かいの葉が揺れました。メジロが2羽います。1羽は虫をくわえています。1枚確保、その時1羽のヒヨドリがまっしぐらに飛び込んできました。近くにメジロの幼鳥がいたので。幼鳥が4羽ほどパニック状態で啼きながら飛び出しました。1羽は道路で動けずに親を呼んで泣き叫びます。少し近づくと親の方向に逃げたので安心です。欲が出てもう少し歩きました。シジュウカラがいました。色もやや薄く胸のネクタイも途切れがちです。巣立ったばかりの幼鳥です。今日は新しい命と出会いの日になりました。めんこい赤ちゃんに感謝し清々しい気分でした。(大友)



<メジロ>



<メジロ幼鳥>



<シジュウカラ>

## ミツケ! こもれびの森 こもれびの森でみつけたよ

山のことなら何でもプロ級、サポーターの(は)さんのコーナー

熱狂キノコ?  
チチタケは傷をつけると傷口からジューっと白い乳液のようなもの出す。ゆえにチチタケ(乳茸)といわれる。宮城県民はチチタケを採る人はまずいない。ところが栃木県民はこのキノコを「チタケ」と称して競い合って採る。走りの頃は、目ん玉が飛び出るほどの高値で取引される。うどんのダシに最高で、時期になるとうどん店には「チタケあります」ののぼりが立つという。実は、こもれびの森にはチチタケが大量に生えるところがある。栃木県民がその生えている様を見れば、おそらく狂喜・乱舞するに違いないだろう。4年前の当り年に汁物や炒め物にしてイベント時や来館者に出してみたが、馴染みがないせいか「美味い」と言う人は少なかった。今年は不作のようだ。ようやく手に入れた数本を汁物にしたが、やはり感動は得られなかった。(は)



<チチタケ>

## まめちしぎコーナー 大型野草～「ウドとシシウド」～

8月の下旬になると、「こもれびの森」では白い小花をたくさんつけ、草丈2mにもなる大型植物が目を見せます。「ウド」と「シシウド」です。漢字で「独活」・「猪独活」と書きます。山菜で有名なウドはウコギ科で、シシウドはセリ科なので全く異なる種の多年草です。名前はよく似ていても、葉や花の形はだいぶ異なります。シシウドは、イノシシが食べるような「ウド」ということで名がついたといわれます。根を天日乾燥したものは、両者ともに生薬として利用でき、煎じて服用すると「頭痛」・「神経痛」などに効果があるとされます。ただ、まぎらわしいのは、シシウドの根の生薬は「独活(どっかつ)」と呼ばれることです。木のようになり、役に立たないウドを「ウドの大木」といいますが、草なので正しくは「ウドの大草」と呼ぶべきではないのでしょうか??? (千葉)



<ウド>



<シシウド>

## お詫び

「こもれびの森森林科学館閉館」(8月22日(金))のお詫び

平成26年8月22日(金)森林科学館を終日閉館としてしまい、ご利用のみなさま並びに関係各位に多大なご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

当日もいつも通り、みなさまにご来館頂き、ゆっくりと自然の中で散策や館内見学、木の実などの工作を楽しんで頂くところ、当館の勝手により終日閉館してしまったものです。

職員一同このような事態を二度と引き起こすことなく、ご来館のみなさまが安心して自然と親しみ、楽しめる場とするよう鋭意努力するとともに、身を引き締めて対処していく所存ですので、これからもぜひご来館頂けますようお願い申し上げます。

宮城県こもれびの森森林科学館 指定管理者 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会  
こもれびの森森林科学館 所長 山本和雄